

# さくらインターネット株式会社 (3778) 2014年3月期 第3四半期 決算説明会

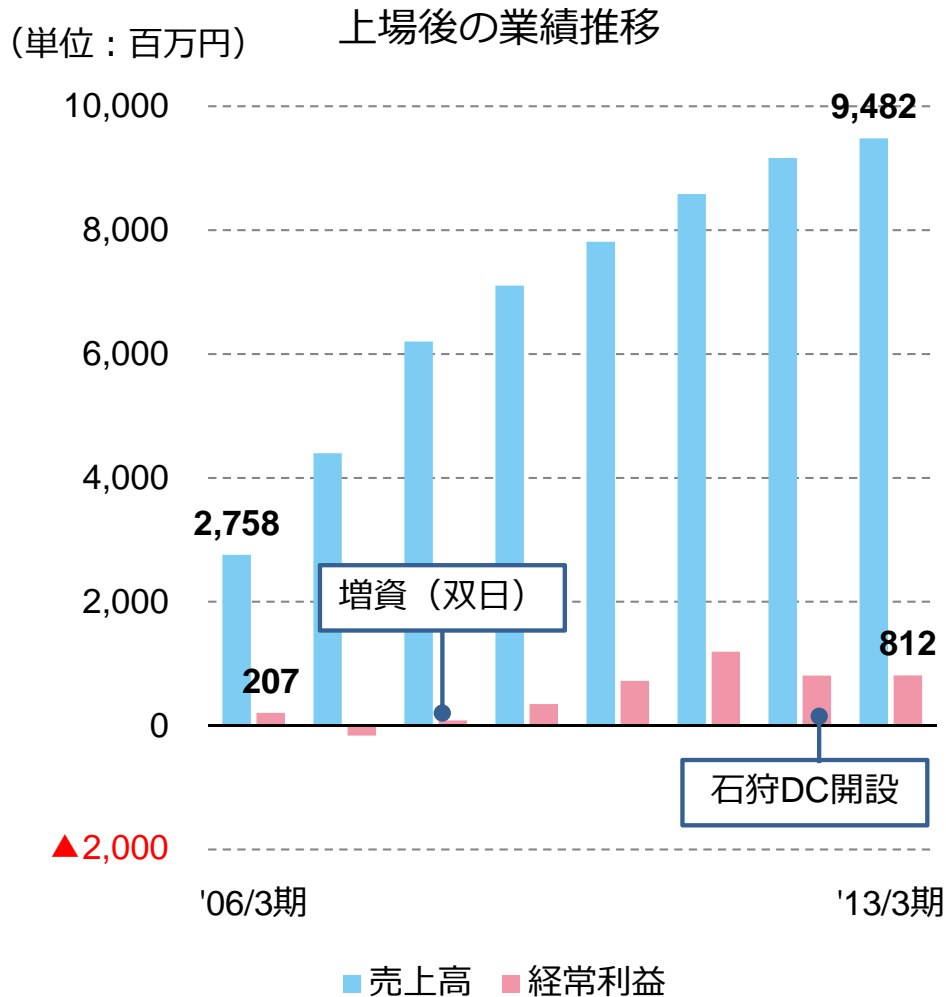
代表取締役社長 田中邦裕

2014年1月27日

I.	会社概要	.....	P.3
II.	決算概況	.....	P.7
III.	事業トピック	.....	P.18
IV.	業績予想の修正	.....	P.24
V.	今後の取り組み	.....	P.29

# I. 会社概要

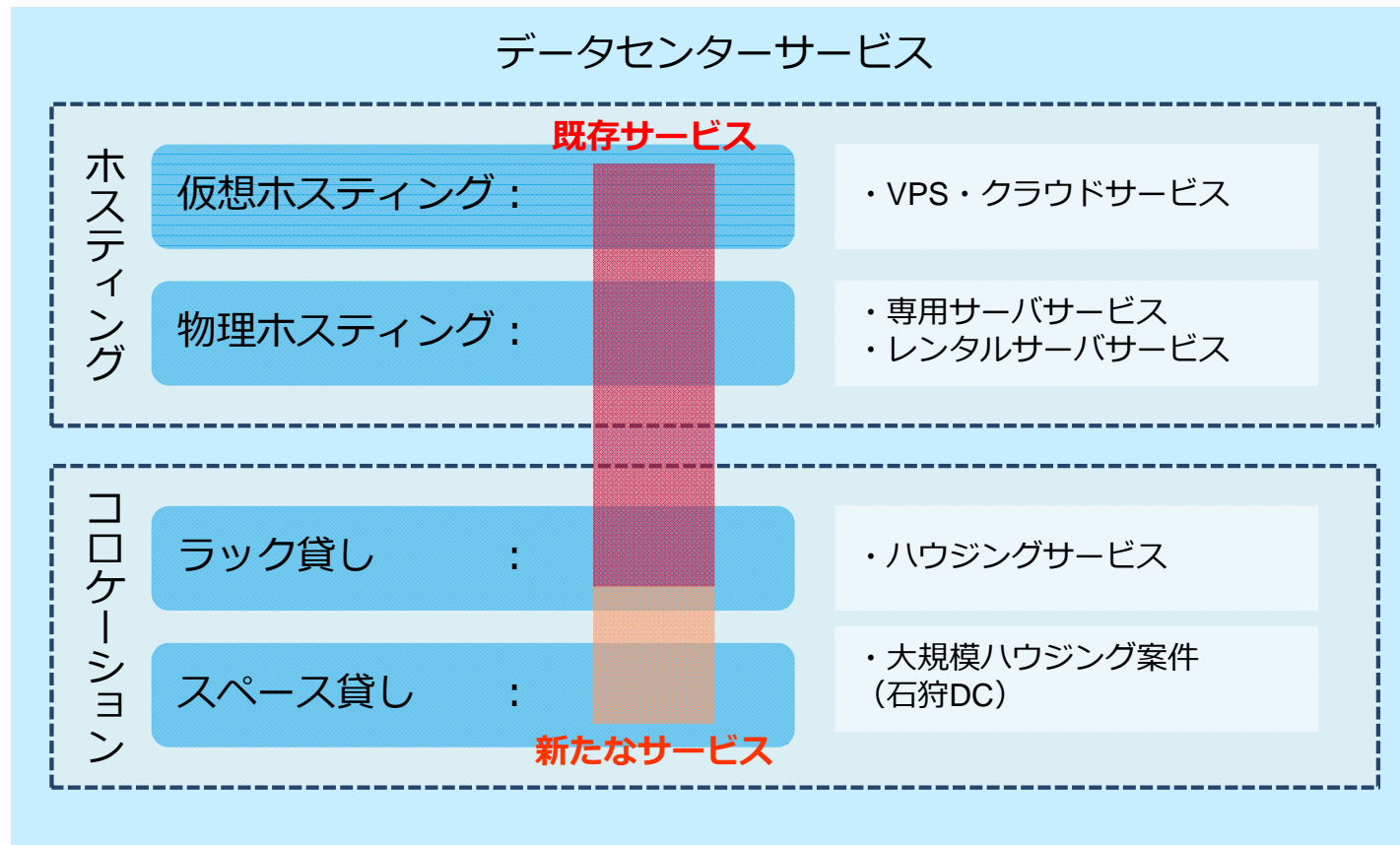
## 上場後も安定した事業成長を続ける、データセンター専門事業者



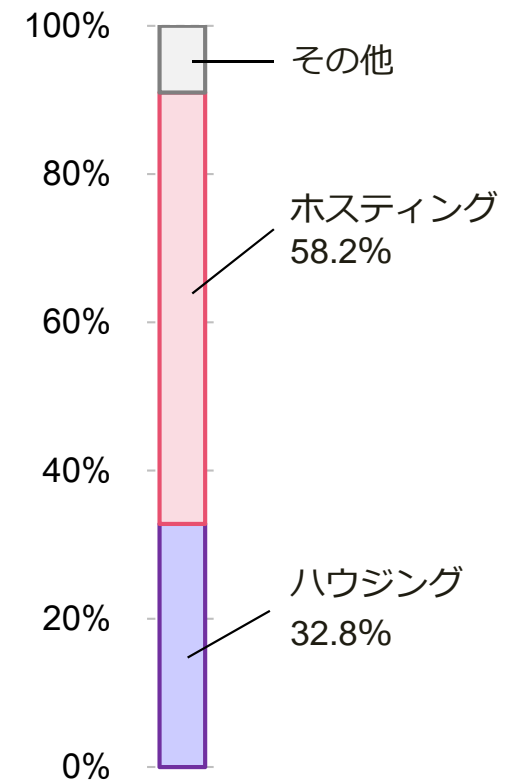
商 号	さくらインターネット株式会社
本 社 所 在 地	大阪府中央区南本町一丁目8番14号
設 立 年 月 日	1999年8月17日 (サービス開始は1996年12月23日)
取 締 役	代表取締役 社長 田中 邦裕 取締役 副社長 舘野 正明 取締役 川田 正貴 取締役 村上 宗久 取締役 (社外) 野村 昌雄
上 場 年 月 日	2005年10月12日 (東証マザーズ)
決 算	3月末日
資 本 金	8億9,530万円
従 業 員 数	236名

(※2013年12月31日現在)

石狩データセンターの開設により、サービスカバレッジが拡大



当社サービス別売上高構成比（'13/3期）



### 3. 各サービスの供給拠点（'13年12月末時点）

#### 石狩データセンター

- 自社所有（土地・建物）
- 主な提供サービス
  - ハウジング
  - 専用サーバ
  - VPS・クラウド



#### 堂島データセンター

- 賃貸（フロア単位）
- 主な提供サービス
  - ハウジング
  - 専用サーバ（旧）
  - レンタルサーバ
  - VPS



#### 西新宿データセンター 東新宿データセンター 代官山データセンター

- 賃貸（フロア単位）
- 主な提供サービス
  - ハウジング
  - 専用サーバ（旧）
  - レンタルサーバ
  - VPS

## II. 決算概況

# 1. 決算ハイライト（前年同期比）

- ① VPS・クラウドサービスが高成長
- ② 石狩データセンターの設備拡張に伴う経費の増加
- ③ 将来の事業成長に必要な人材確保に伴う経費の増加

（金額：百万円）

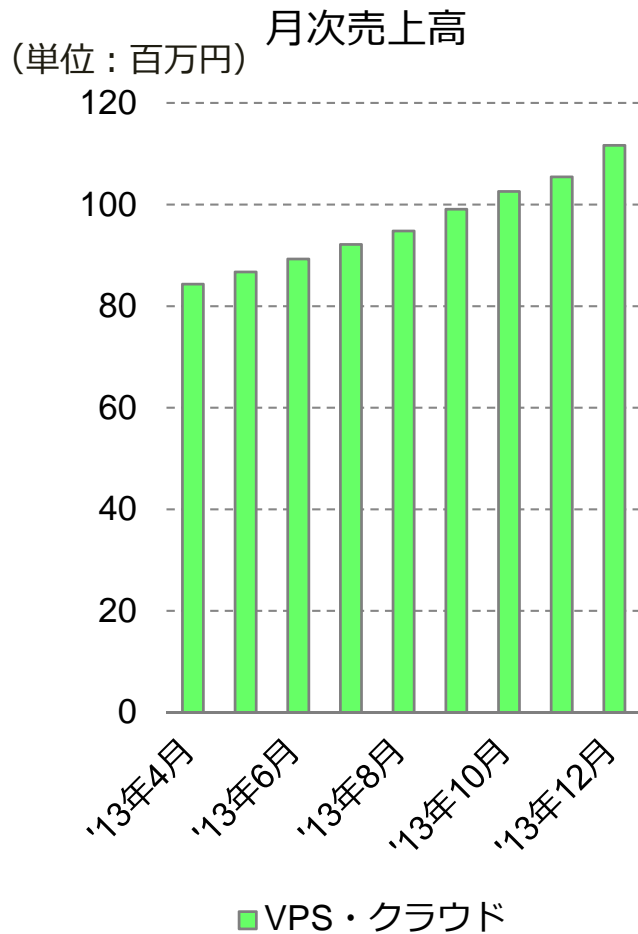
科目名	‘13/3期 Q3累計		‘14/3期 Q3累計		前年同期比		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
売上高	7,041	100.0	7,486	100.0	445	6.3	①
売上原価	5,132	72.9	5,583	74.6	451	8.8	②・③
売上総利益	1,908	27.1	1,902	25.4	▲ 6	▲ 0.3	
販管費	1,271	18.1	1,378	18.4	106	8.4	③
営業利益	637	9.1	524	7.0	▲ 112	▲ 17.7	
経常利益	598	8.5	454	6.1	▲ 144	▲ 24.1	
四半期純利益	369	5.3	245	3.3	▲ 123	▲ 33.5	

※構成比と増減率の単位は%

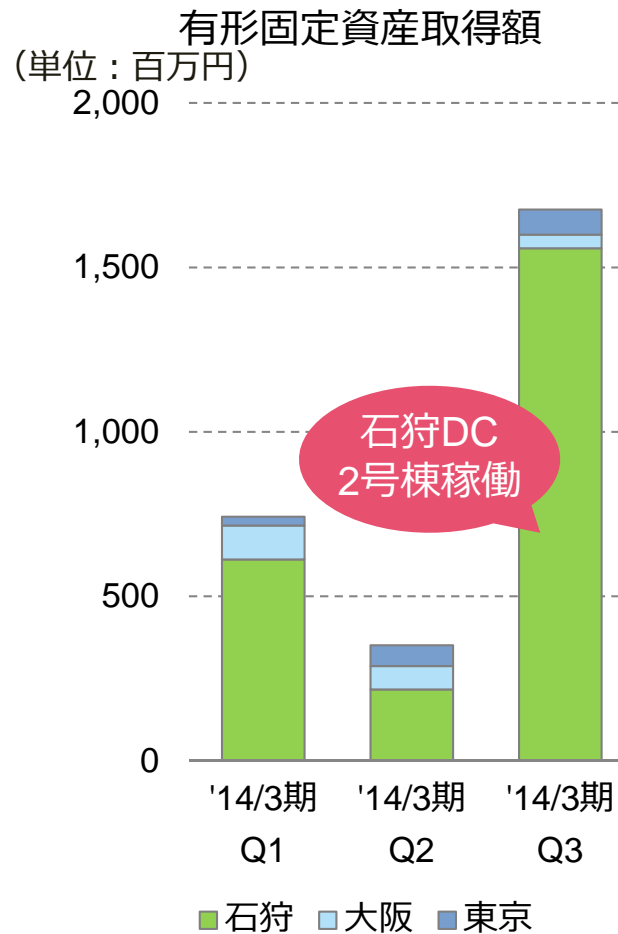


# 1. 決算ハイライト（前年同期比）

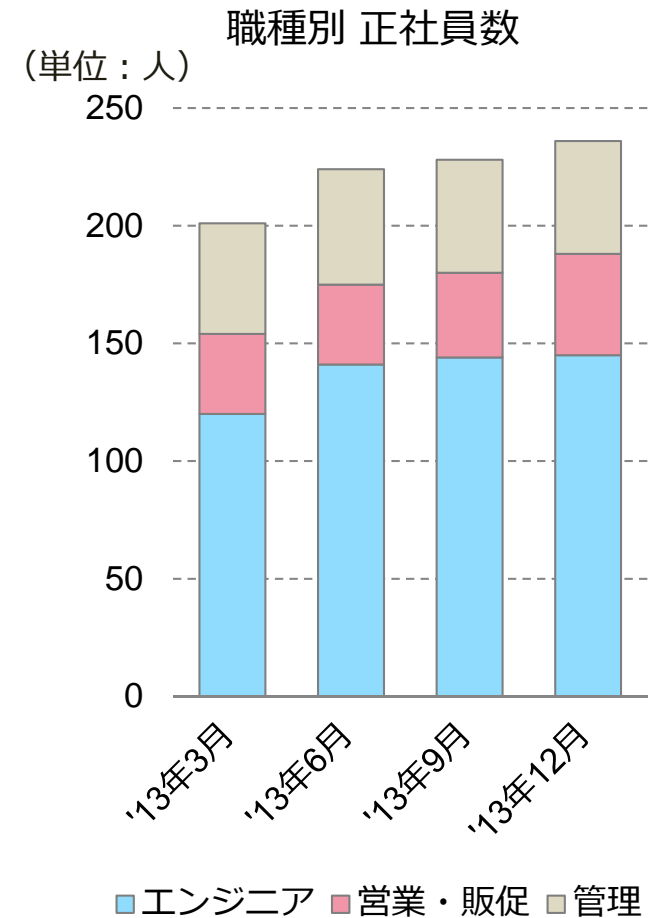
## ① VPS・クラウドの成長



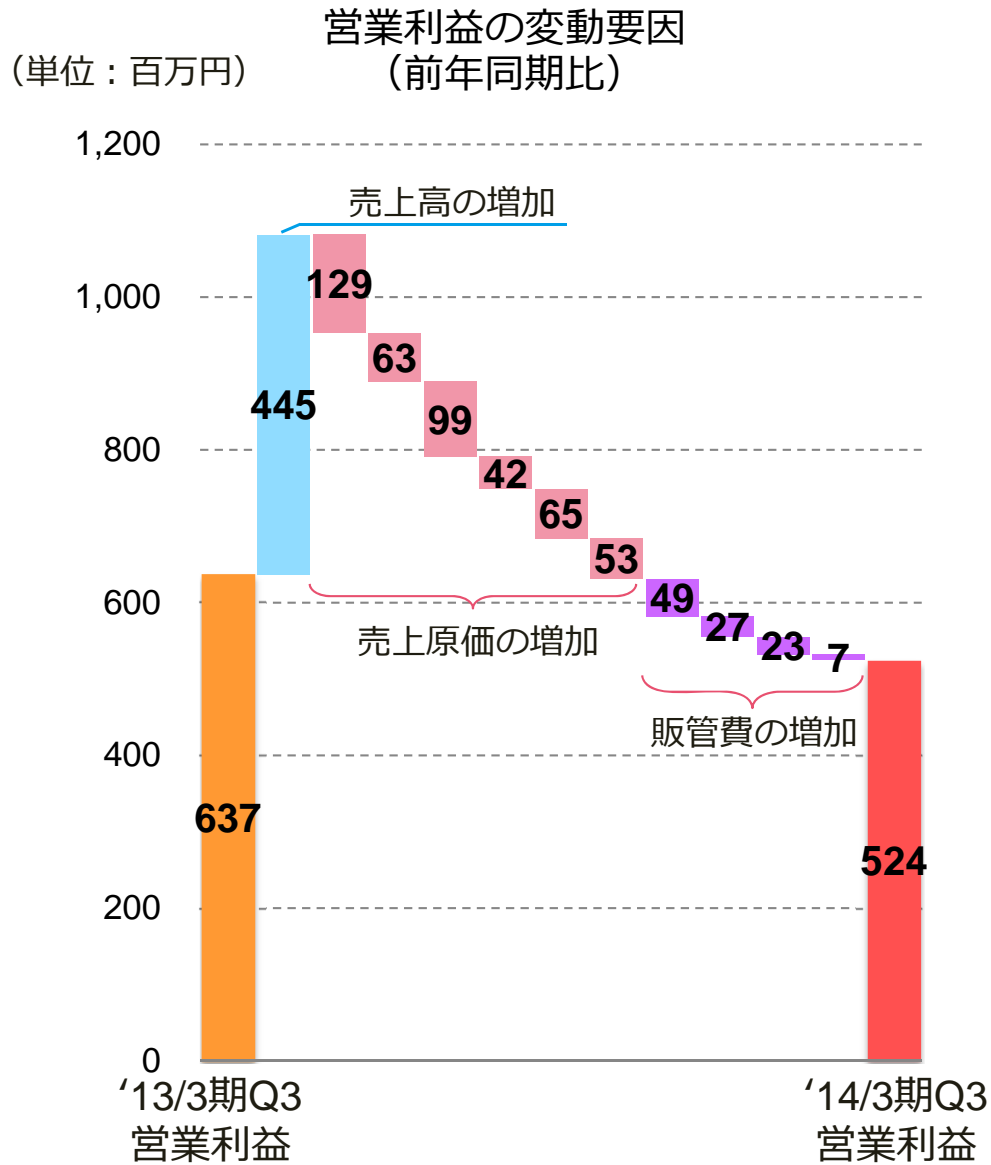
## ② 石狩DCの設備拡張



## ③ 成長に必要な人材確保



# 1. 決算ハイライト（前年同期比）



(単位：百万円)

主な要因	金額
<b>売上原価の増加</b>	<b>451</b>
減価償却費の増加 (石狩DC拡張)	129
修繕費・消耗品費の増加 (石狩DC拡張)	63
エンジニアの増員	99
ドメイン調達コストの増加	42
ハウジングの新規顧客への販売商品機材 (※一時的な要因)	65
その他売上原価の増加	53
<b>販管費の増加</b>	<b>106</b>
営業・販促スタッフの増員	49
人員増に伴う東京支社のフロア拡張	27
貸倒引当金繰入額の発生	23
その他販管費の増加	7

## 2. 損益計算書（前四半期比）

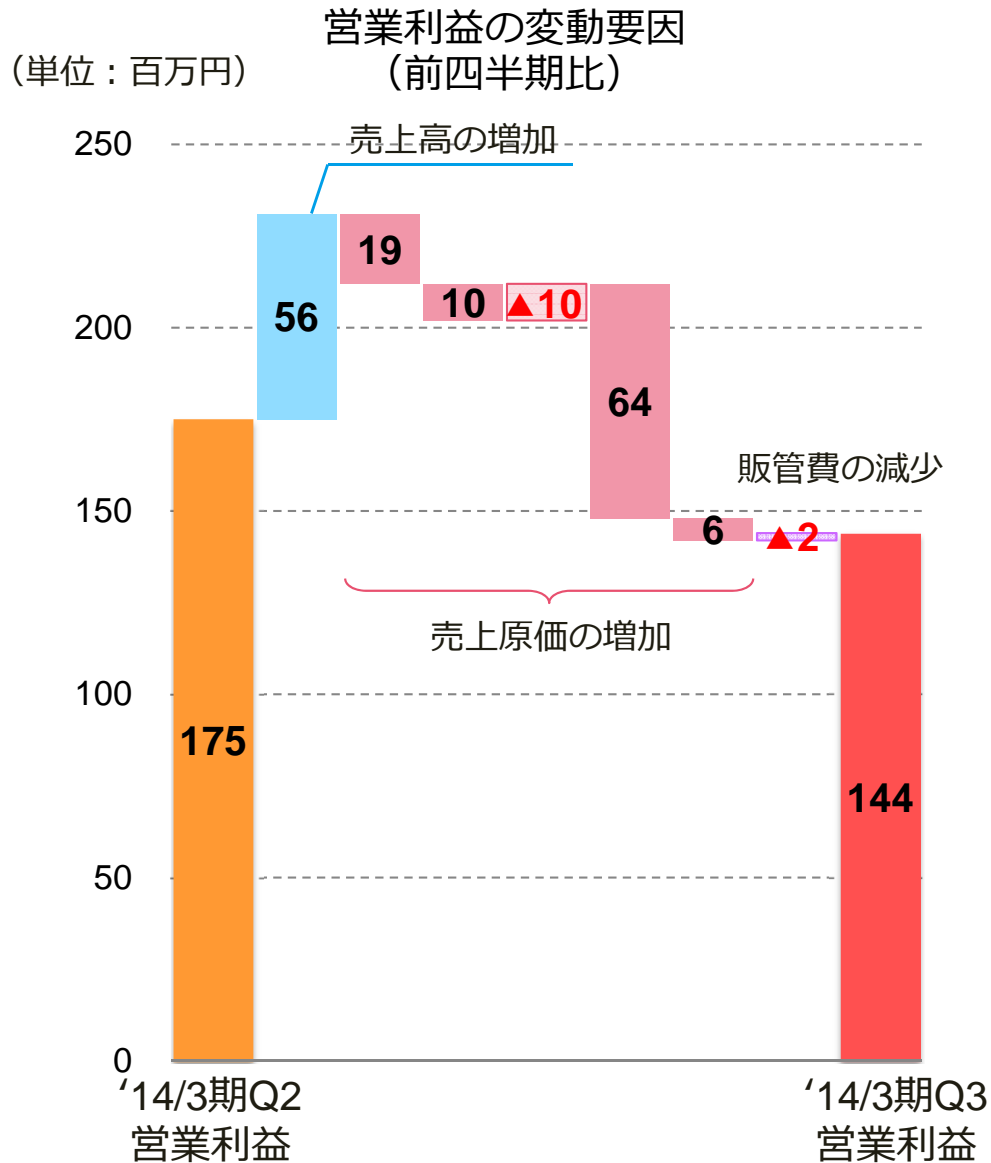
- ① 石狩データセンター2号棟の稼働（'13年12月）に伴う運用コストの増加  
 ② 上記①に伴う修繕費・消耗品費など、減価償却費以外のコストが増加

（金額：百万円）

科目名	'13/3期				'14/3期			前四半期比	
	Q1会計	Q2会計	Q3会計	Q4会計	Q1会計	Q2会計	Q3会計	増減額	増減率
売上高	2,340	2,331	2,369	2,440	2,473	2,478	2,534	56	2.3
売上総利益	663	631	613	680	675	630	597	▲33	▲5.3
構成比	28.4	27.1	25.9	27.9	27.3	25.4	23.6		
営業利益	258	212	166	229	205	175	144	▲30	▲17.7
構成比	11.0	9.1	7.0	9.4	8.3	7.1	5.7		
経常利益	243	198	157	213	185	152	116	▲36	▲23.8
構成比	10.4	8.5	6.6	8.8	7.5	6.2	4.6		
四半期純利益	145	115	108	109	106	70	69	▲1	▲1.5
構成比	6.2	5.0	4.6	4.5	4.3	2.8	2.7		
EBITDA	597	585	581	672	602	590	576	▲14	▲2.4

※構成比と増減率の単位は%、EBITDA = 経常利益 + 支払利息 + 減価償却費

## 2. 損益計算書（前四半期比）



(単位：百万円)

主な要因	金額
<b>売上原価の増加</b>	<b>89</b>
減価償却費の増加 ✓ 石狩DC2号棟稼働に伴う資産の増加	19
修繕費・消耗品費の増加 ✓ 石狩DC2号棟稼働に伴う保守コストや消耗品（ケーブル等）の増加	10
データセンターの賃借契約変更 ✓ 代官山DCの一部フロア解約 ✓ 堂島DCの契約更新に伴う条件変更	▲10
ハウジングの新規顧客への販売商品機材 (※一時的な要因)	64
その他売上原価の増加	6
<b>販管費の減少</b>	<b>▲2</b>

### 3. サービス別売上高（前四半期比）

- ① 都内データセンターで大口解約が発生
- ② VPS・クラウドが高成長
- ③ ハウジングの新規顧客に提供する機材の大口販売

（金額：百万円）

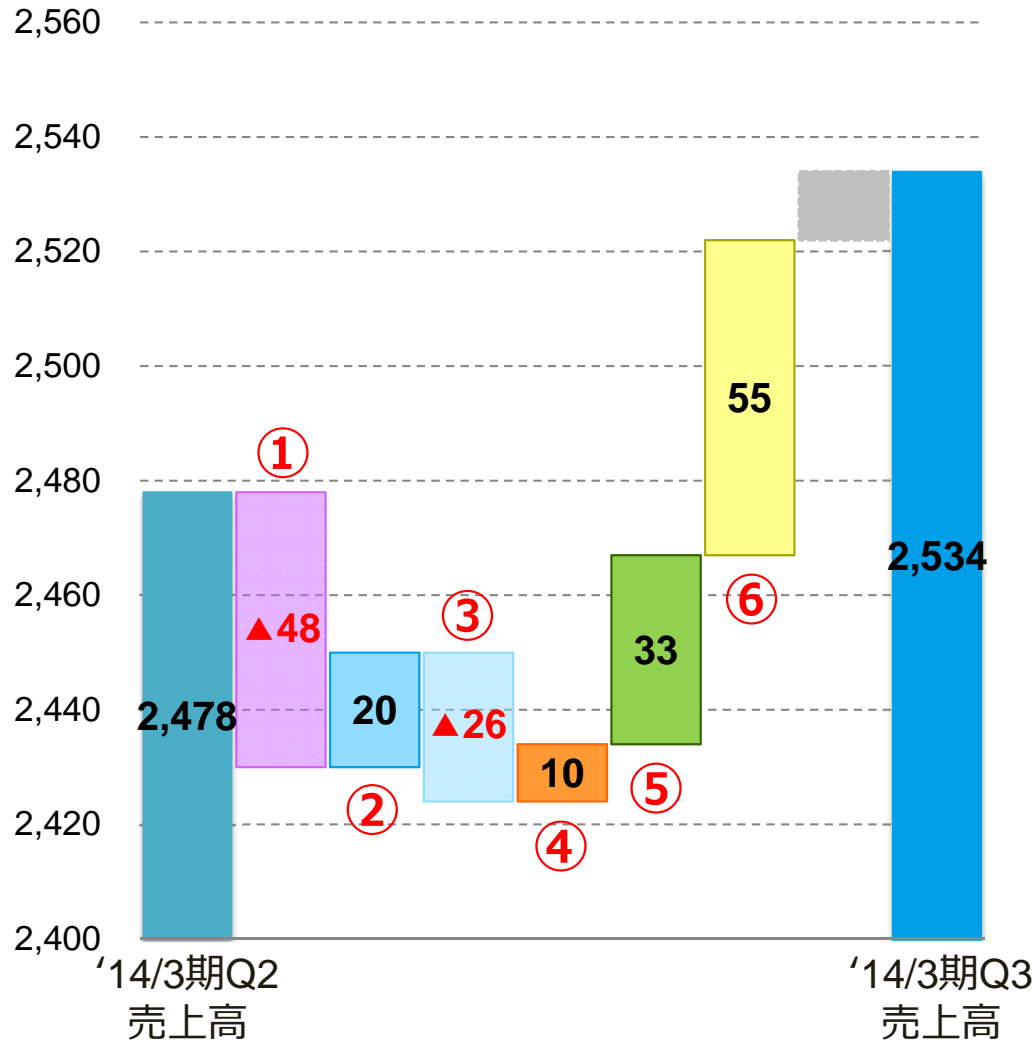
科目名	‘13/3期				‘14/3期			前四半期比		
	Q1会計	Q2会計	Q3会計	Q4会計	Q1会計	Q2会計	Q3会計	増減額	増減率	
ハウジング	760	757	786	805	793	776	716	▲59	▲7.7	①
構成比	32.5	32.5	33.2	33.0	32.1	31.3	28.3			
専用サーバ	751	729	686	688	679	656	644	▲12	▲1.8	
構成比	32.1	31.3	29.0	28.2	27.5	26.5	25.4			
レンタルサーバ	463	475	489	504	517	537	548	10	1.9	
構成比	19.8	20.4	20.7	20.7	20.9	21.7	21.6			
VPS・クラウド	143	155	200	232	260	286	319	33	11.8	②
構成比	6.2	6.7	8.5	9.5	10.5	11.5	12.6			
その他	221	212	207	210	222	221	305	84	37.9	③
構成比	9.4	9.1	8.7	8.6	9.0	8.9	12.1			

※構成比と増減率の単位は%

### 3. サービス別売上高（前四半期比）

売上高の変動要因  
(前四半期比)

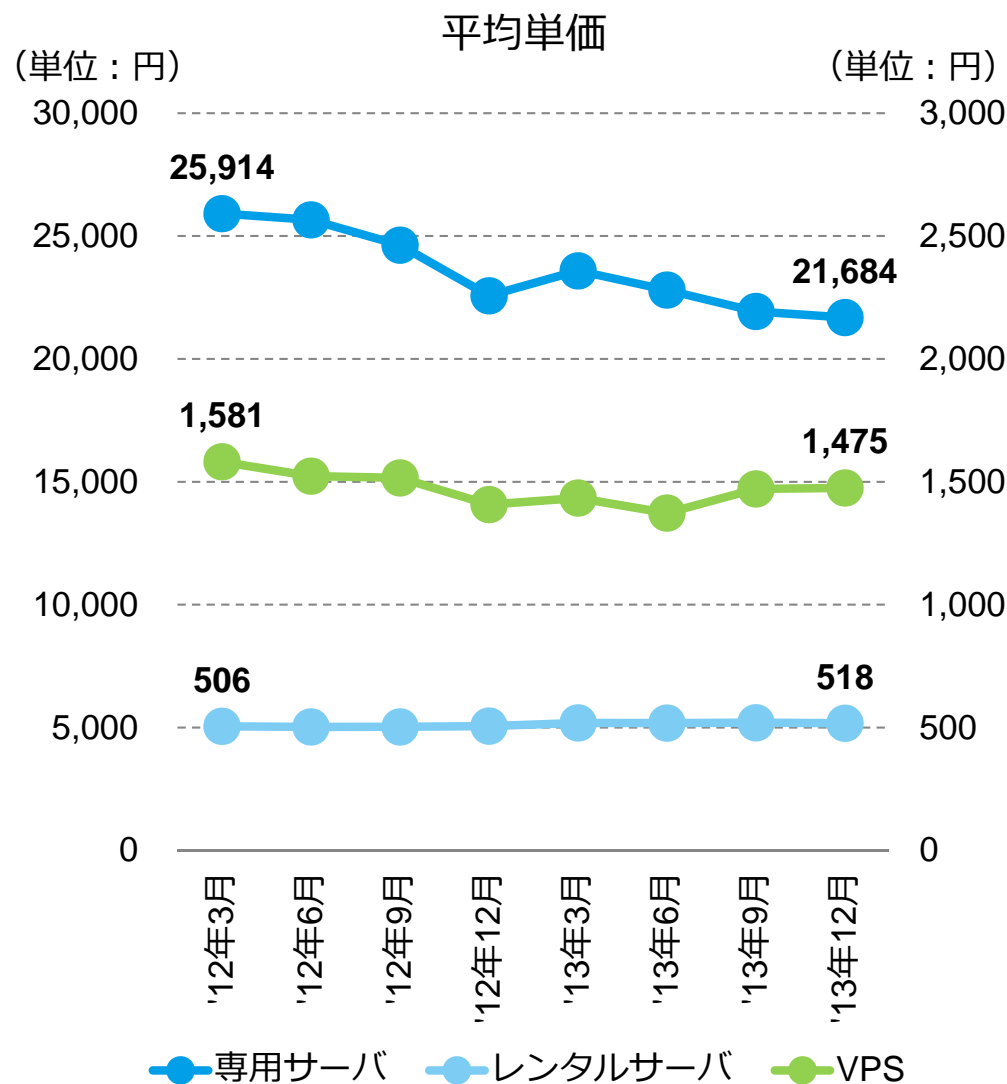
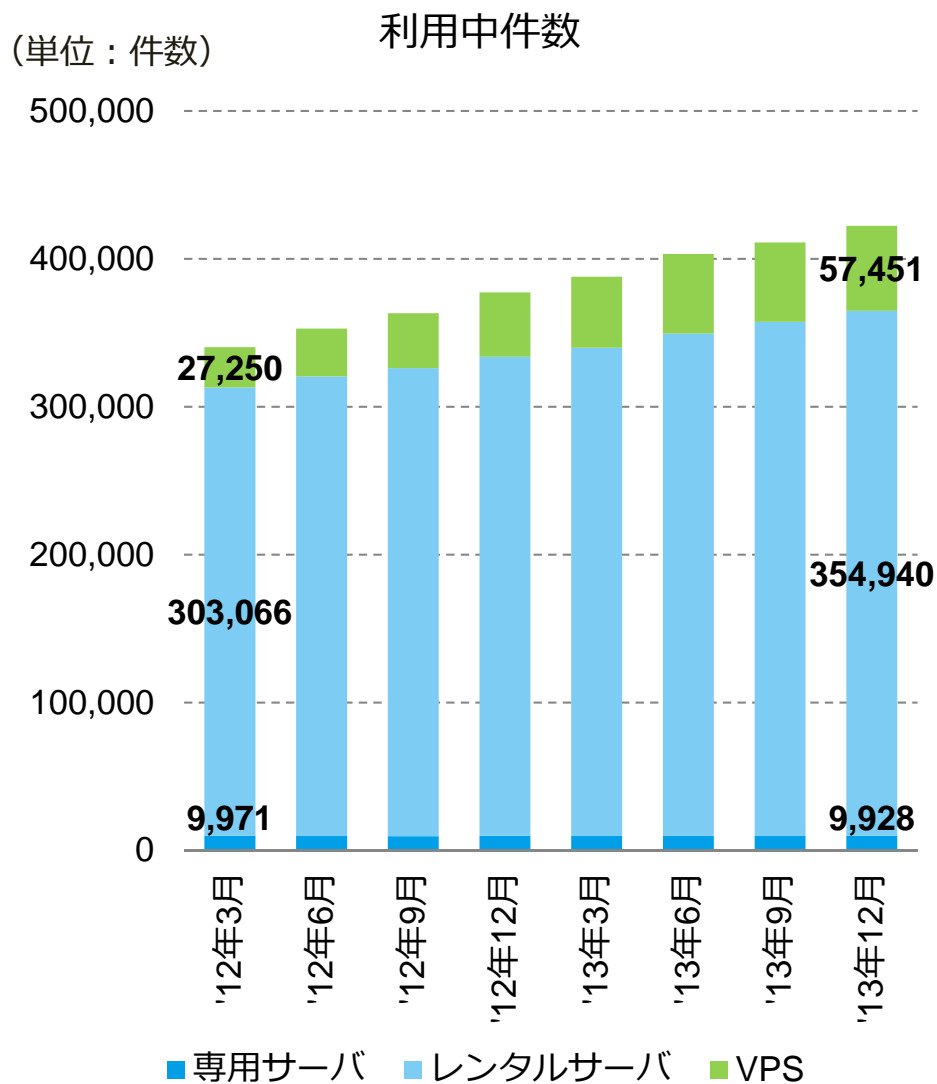
(単位：百万円)



(単位：百万円)

主な要因	金額
① 都内DCで大口解約が発生	▲48
② さくらの専用サーバ（石狩DC）の成長	20
③ 旧サービス等の解約	▲26
④ レンタルサーバの成長	10
⑤ VPS・クラウドの成長	33
⑥ 新規顧客に提供する機材の大口販売	55

# 4. ホスティングサービス 利用動向



## 5. 貸借対照表

- ① 石狩データセンターの稼働スペース拡大など、各データセンターの設備強化とサービス機材調達に伴う建物やリース資産の増加
- ② 上記①に伴うリース債務の増加

(金額：百万円)

科目名	前期末 (‘13/3期)	当期Q3末 (‘14/3期)	増減額	科目名	前期末 (‘13/3期)	当期Q3末 (‘14/3期)	増減額
流動資産	3,610	3,755	145	流動負債	4,997	5,297	300
固定資産	8,902	10,473	1,570	固定負債	4,341	5,554	② 1,213
(有形固定資産)	7,515	8,975	① 1,459	負債合計	9,338	10,852	1,513
(無形固定資産)	838	966	128	純資産	3,174	3,376	202
(投資その他資産)	548	530	▲ 17	(株主資本)	3,174	3,376	202
資産合計	12,513	14,228	1,715	負債純資産合計	12,513	14,228	1,715



## 6. キャッシュ・フロー計算書（前四半期比）

- ① 納税や仕入債務、賞与支給などの支払時期が集中
- ② 石狩データセンター2号棟の稼働に伴う設備やサービス機材の調達
- ③ 上記②に伴うリースバックによる収入

（金額：百万円）

科目名	‘13/3期				‘14/3期			前四半期比 増減額
	Q1会計	Q2会計	Q3会計	Q4会計	Q1会計	Q2会計	Q3会計	
営業CF	694	605	331	698	286	742	① 253	▲488
投資CF	▲343	▲444	▲702	▲121	▲1,266	▲368	② ▲1,624	▲1,256
営業CF－投資CF	350	161	▲371	576	▲980	374	▲1,371	▲1,745
財務CF	▲151	▲41	1	▲310	1,122	▲546	③ 1,264	1,811
現金等の増加額	199	120	▲369	266	142	▲172	▲106	65
現金等の残高	2,282	2,402	2,033	2,299	2,441	2,269	2,162	

## III. 事業トピック

一般企業で広く浸透しているWindowsのOSプランを提供

## 協業の内容

- 日本マイクロソフト社（以下「MS社」）のOS等の開発情報を事前に共有
- MS社の製品リリースと合わせて、当社も新サービスや機能追加をリリース

最新の Windows が搭載されたサービスを常時提供  
**社内システム用途のITインフラ需要を取り込む**



▲ 「マイクロソフトカンファレンス2013」に当社も出展

今後もMS社と共同で、  
イベントやセミナーなどの  
販促活動を企画・実施

### スタートアップ企業のITインフラを支援

#### 提携の内容

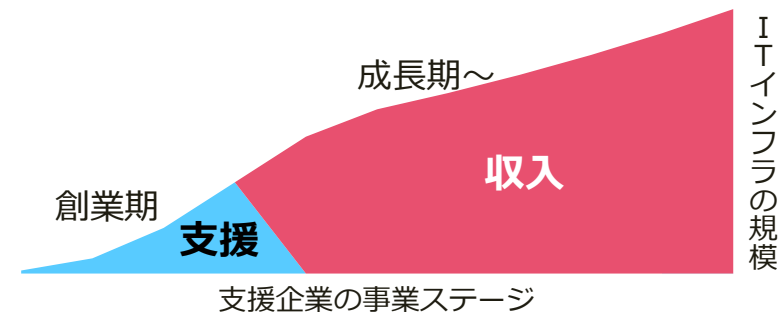
- サムライインキュベート社（以下「SI社」）が支援するスタートアップ企業を対象に、以下の支援プログラムを提供
  - ① 当社サービスの無償提供（最大1年間）
  - ② 当社エンジニアによる「サーバ活用法」のレクチャー



- ▲ SI社が運営する日本最大級の coworking（※）スペース「Samurai Startup Island」

（※）それぞれ独立して働く者が共同の事務所スペースを利用し、アイデアや情報、技術などを共有するワークスタイル

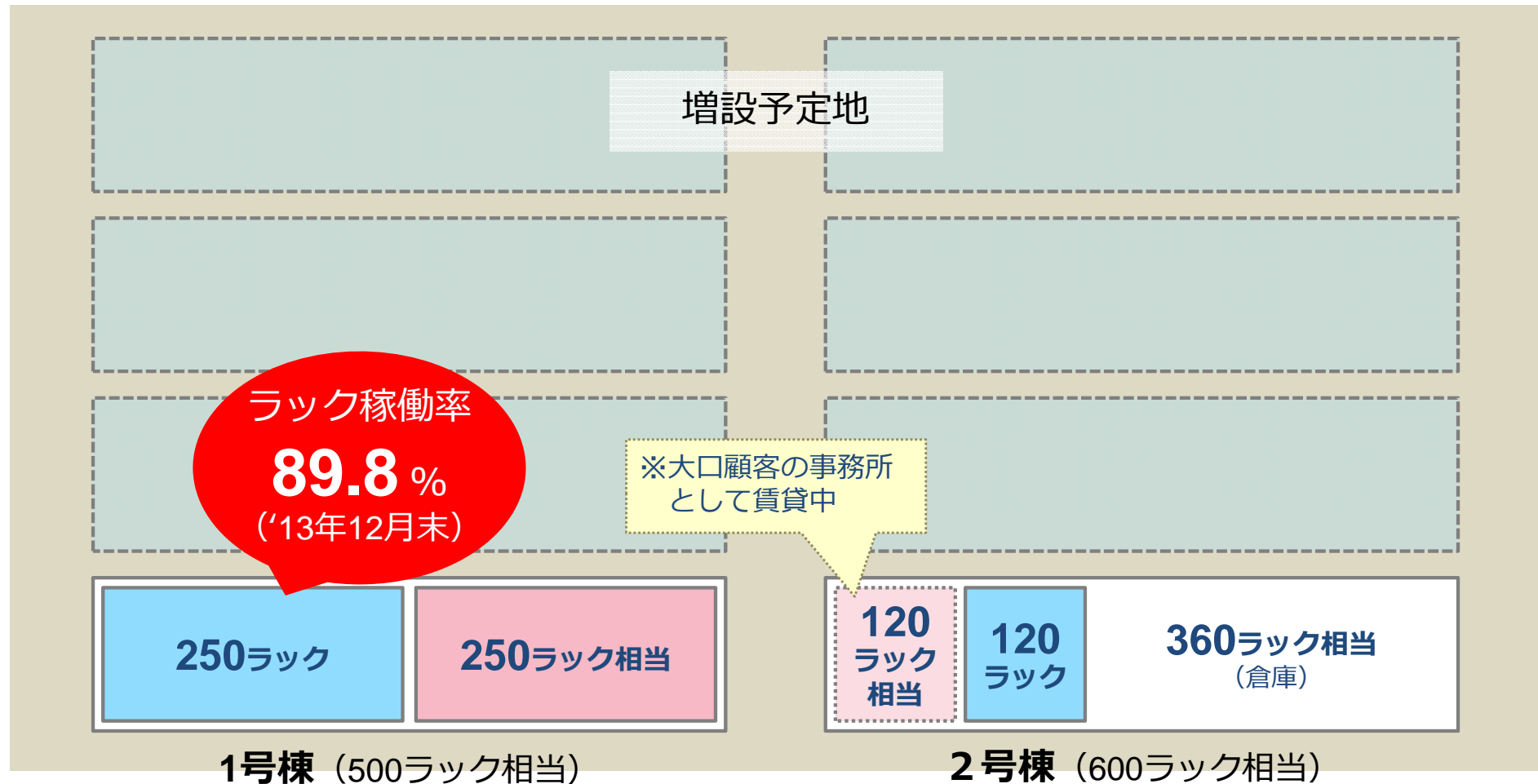
#### ◆ 当提携の収益イメージ





**未来のビッグ・ベンチャーを獲得**

### 3. 石狩データセンター2号棟の稼働（'13年12月1日）

1号棟の高稼働を受け、2号棟でもホスティングを提供開始



-  ホスティング・リモートハウジングの提供スペース
-  大規模ハウジング案件の提供スペース

収容効率を20%向上させ、2号棟は600ラック規模

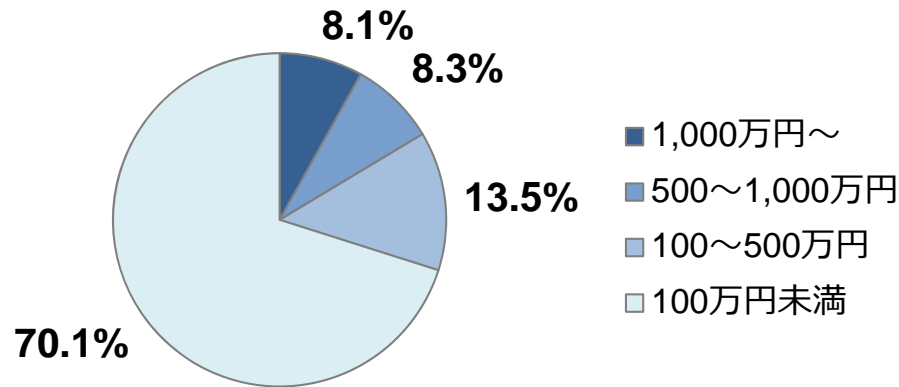
### 競争力を高める施策を次々と実施

実施日	サービス	内容
'13年10月 1日	さくらのクラウド	時間課金制度を導入
10月31日	さくらのVPS	東京リージョン開設
10月31日	さくらのVPS	処理能力に優れたハイエンドプランをリリース
11月 1日	さくらのクラウド	耐障害性に優れたシステム構成を実現できるオプションサービスをリリース
11月 7日	さくらの専用サーバ	最新のWindows系OSプランをリリース
11月22日	さくらのクラウド	最新のWindows系OSプランをリリース
11月28日	さくらのクラウド	リモートデスクトップ (※) 環境を構築できるOSプランをリリース

(※) インターネットを經由して、手元の端末から遠隔地のPCにアクセスする機能

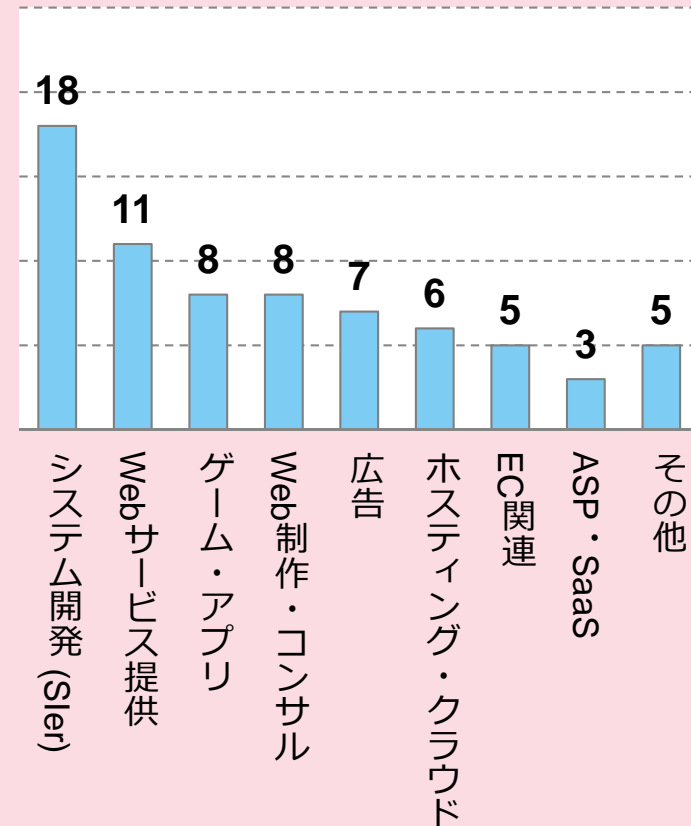
小口顧客の売上構成比が高く、特定の業種に依存しない顧客構成

月額料金別データ  
(売上構成比)



月額料金	事業者数		
	'13年6月	'13年9月	'13年12月
1,000万円~	6	5	4
500~1,000万円	9	10	9
100~500万円	54	54	58

業種別  
月額料金100万円以上の顧客数



## IV. 業績予想の修正



- 売上高
  - ✓ 都内データセンターのハウジングや旧専用サーバ等の解約が発生
  - ✓ 新規ITインフラ需要が、想定以上にVPS・クラウドや専用サーバの新サービスへ移行
  
- 利益
  - ✓ 将来の事業成長に必要な投資をしつつ、コスト削減を図ったが、売上高の未達額が大きく、固定費の増分をカバーできず

(金額：百万円)

	予想数値		増減 (B - A)		前期実績
	前回発表 (A)	今回発表 (B)	金額	増減率	
売上高	11,000	9,950	▲1,050	▲9.6	9,482
営業利益	1,000	620	▲380	▲38.0	867
経常利益	820	520	▲300	▲36.6	812
当期純利益	500	280	▲220	▲44.0	479

### 首都圏データセンターの2013年問題 (※)

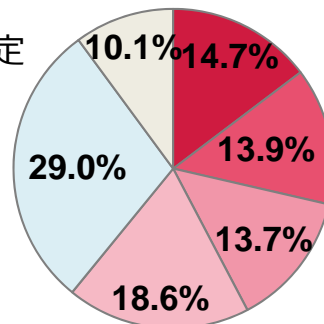
- 国内データセンターの延床面積は、'12年に14.9万㎡（約1.8万ラック相当）増加し、170.5万㎡  
⇒ うち、都内では約1.1万ラック相当の延床面積が増加
- 大規模なデータセンター新設は東京都23区内で増える見込み
- 老朽化する既存データセンターの統廃合が増える見込み

出典：IDC Japan Directions 2013 Tokyo「相次ぐ大規模データセンターの新設：DCアウトソーシング市場の需給バランスへの影響は？」  
IDC Japan プレスリリース（2013年7月3日）「国内データセンター投資動向調査結果を発表」

### BCP・DR対策需要の高まり

#### ITシステムのDR対策実施状況

- 実施済み、今後も変更なし
- 実施済みだが、強化する予定
- 実施を予定
- 実施を検討
- 実施する予定はない
- 分からない/未定

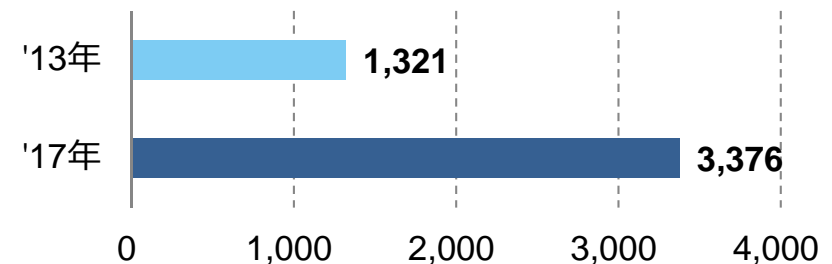


出典：IDC Japan「2013年国内マネージドサービス市場企業ユーザー調査」(J13030103) (2013年5月)

### クラウドの浸透

#### 国内パブリッククラウド

(単位：億円) サービス市場予測



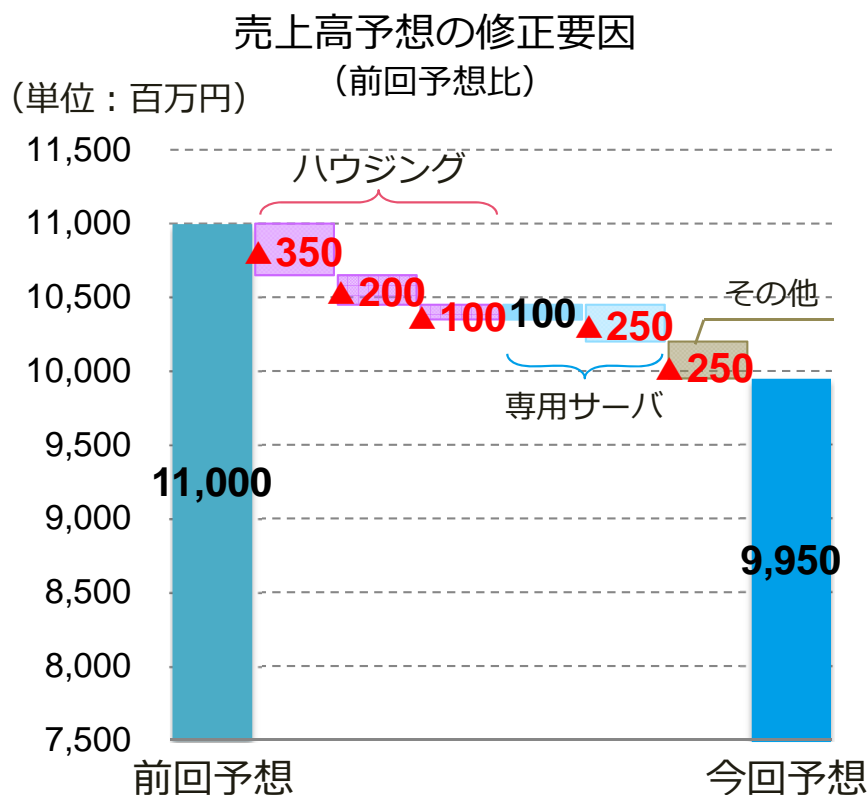
出典：IDC Japan プレスリリース（2013年10月24日）  
「国内パブリッククラウドサービス市場予測を発表」

### 国・自治体も地方分散化を支援（優遇税制など）

(※) 首都圏内のDC新設・増設ラッシュにより、ラック供給量が新規需要を一時的に上回り、サービス価格が大幅に下落している状態

### 3. 売上高予想の主な修正要因

- ① 首都圏データセンターの2013年問題で、ハウジングの価格競争が激化
- ② 石狩データセンターのDR需要は堅調だが、その多くがVPS・クラウドや専用サーバの新サービスに集中
- ③ 想定以上に旧サービスから新サービスへの移行が進む

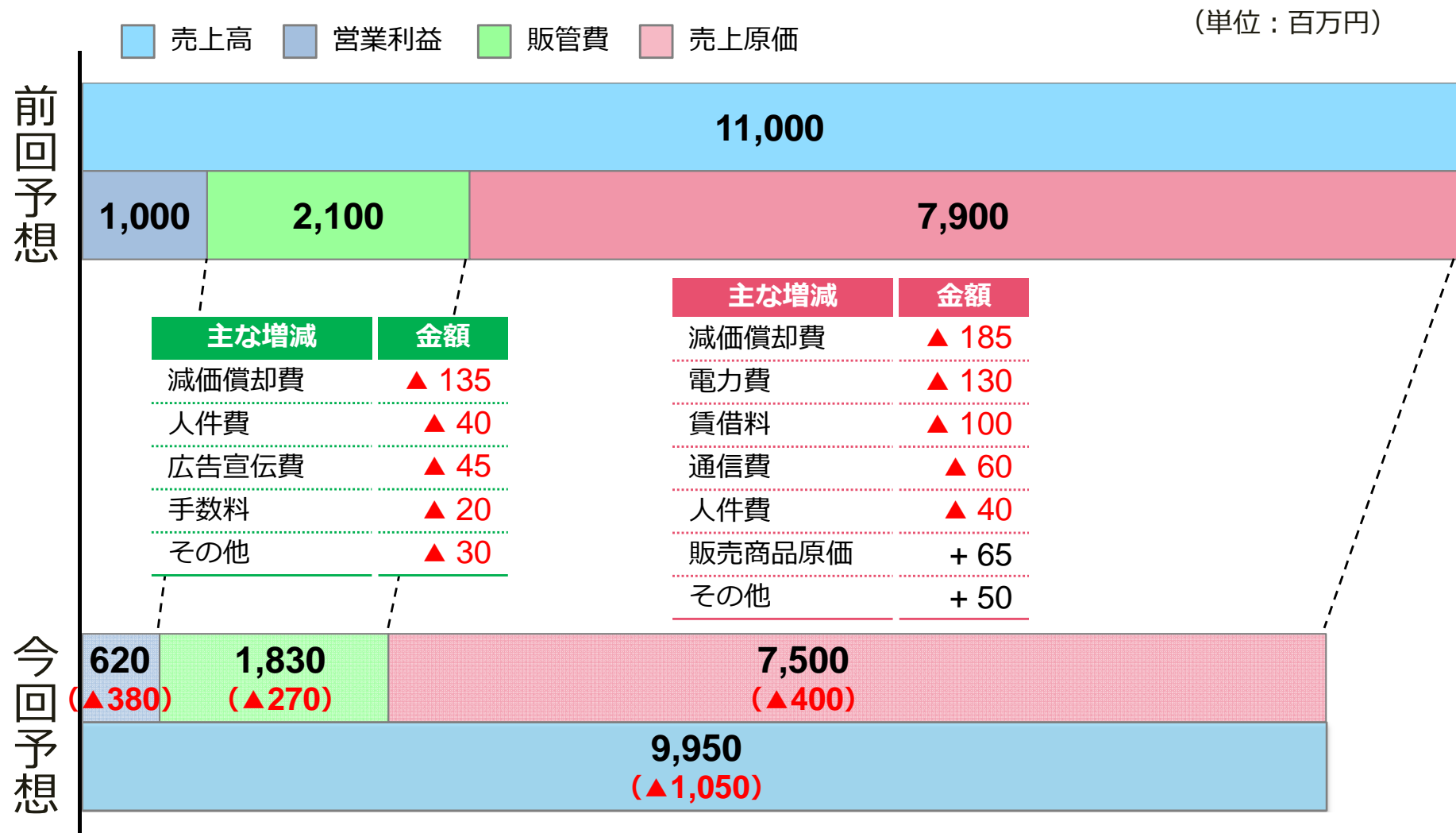


(単位：百万円)

売上高予想の主な修正要因	金額
① 都内DCで大口解約が発生	▲ 350
② 石狩DCのハウジング需要見込み違い	▲ 200
双日グループ向け大規模案件の計画変更	▲ 100
②・③ さくらの専用サーバ（石狩DC）が好調	+ 100
③ 旧サービス等の解約	▲ 250
一部サービスのリリース遅延等	▲ 250

## 4. 利益予想の主な修正要因

売上原価、販管費ともコスト削減を図り、前回予想の範囲に収まるものの、売上高の未達額が大きく、固定費の増分をカバーできず

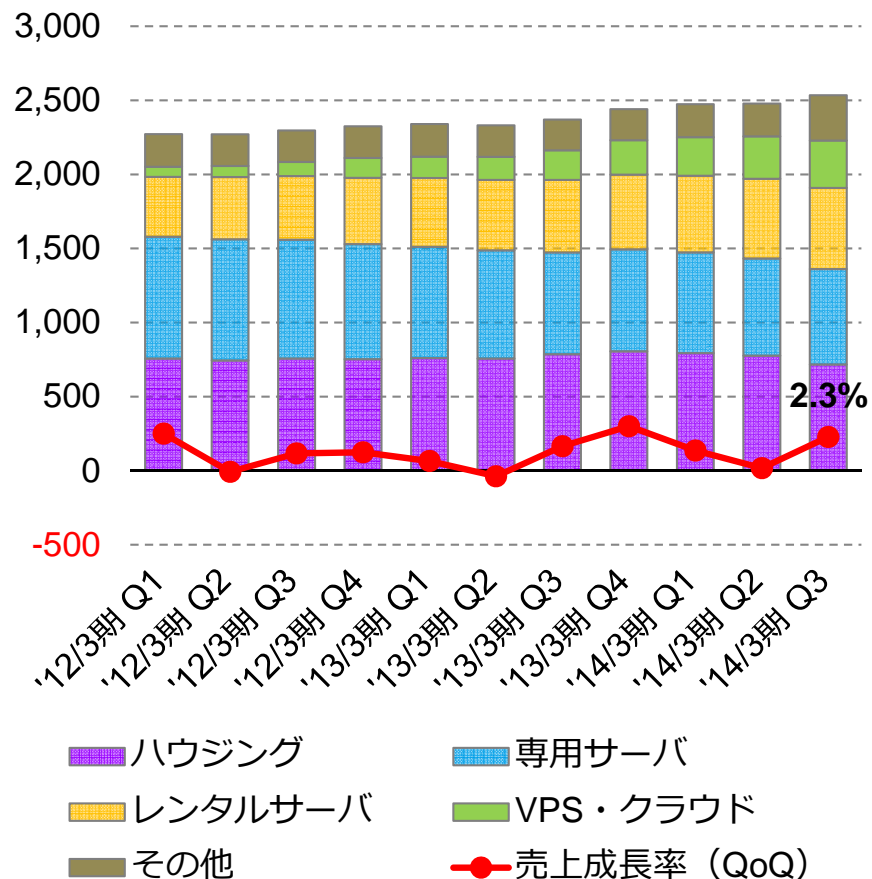


## V. 今後の取り組み

高価格帯サービスの受注低調や大口解約の発生などにより、売上成長が計画を下回る

売上高推移

(単位：百万円)

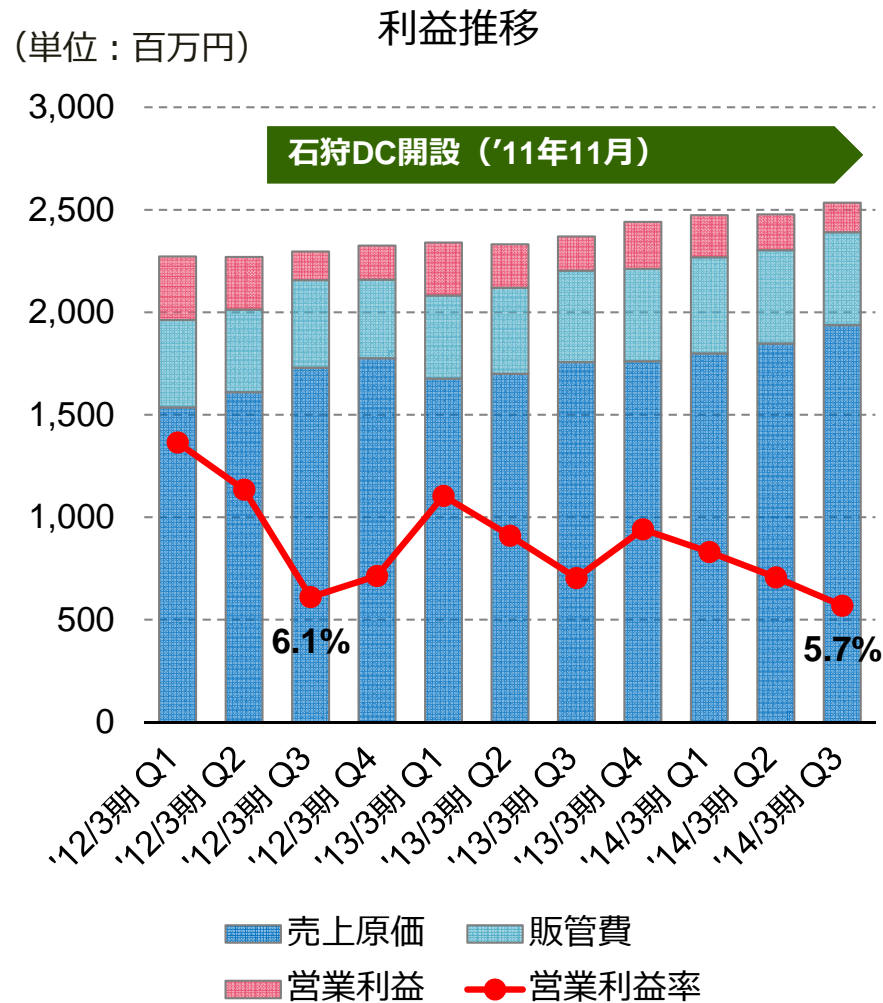


- 首都圏内のDC新設・増設ラッシュにより、ハウジングの価格競争が激化
  - 対応** 都内DCの一部フロアを解約
  - 対応** ハウジングスペースの一部をホスティングに転用

- 新規ITインフラ需要の多くが、VPS・クラウドや専用サーバの新サービスに集まる
- 旧サービスから新サービスへの切替過渡期
  - 対応** さくらの専用サーバやVPS・クラウド等の機能強化やプラン拡充を継続的に実施

- 新サービスの開発・導入に必要なエンジニアの確保が遅れている
  - 対応** 期首からエンジニアを25名増員 ('13年12月末時点)

石狩データセンターの稼働スペース拡大などにより、売上原価が上昇



- 石狩DC2号棟の稼働により、利益水準が同DC開設時と同程度に低下
- 大規模ハウジング案件のDR需要を取り込み、設備投資計画を前倒し
  - ✓ 減価償却・利息の発生が早まる
- エンジニアの採用に係る人件費が増加
  - 対応** コスト競争力に優れた石狩DCを拡張することで、従来の都市型DCの拡張と比べ、コスト負担（電力費、賃料等）の増加幅を圧縮

- 売上高
  - ✓ 成長余力の高い分野へ経営資源を集中
    - ➡ 売上高100億円の早期突破と持続的成長の実現
- 利益
  - ✓ 投資内容、金額、時期の最適化を図る
    - ➡ 経常利益率10%の早期復活を目指す

### 売上高の持続的成長

- サービス開発・リリースサイクルを加速
- パートナーとのセールス・プロモーション活動を推進
- 高付加価値サービスの提供
- サービス基盤のプラットフォーム化

### コストの最適化

- 1ゾーン当たりのラック設置数、1ラック当たりのサーバ設置数の向上
- 都内DCの提供サービス見直し
- サービス用機材・システムの共通化



#### 売上高の持続的成長

- サービス開発・リリースサイクルを加速
- パートナーとのセールス・プロモーション活動を推進
- 高付加価値サービスの提供
- サービス基盤のプラットフォーム化

#### コストの最適化

- 1ゾーン当たりのラック設置数、1ラック当たりのサーバ設置数の向上
- 都内DCの提供サービス見直し
- サービス用機材・システムの共通化

**ホスティングサービスの強化**

**高付加価値サービスの企画・開発**

**パートナーとのセールス・プロモーション**

収益性の高いホスティングを強化し、売上増と利益増を図る

## 「さくらの専用サーバ」の機能強化（'14年1月23日実施）

- 耐障害性を高めるITインフラ環境を提供（石狩DC 2号棟の稼働により実現）



- 物理的に独立した環境で、それぞれのサーバを一括管理
- ↓
- ストレスなくバックアップ体制を構築

- 料金据え置きで、上位パーツを搭載したオプションメニューに改定

## 「さくらのマネージドサーバ」のリニューアル

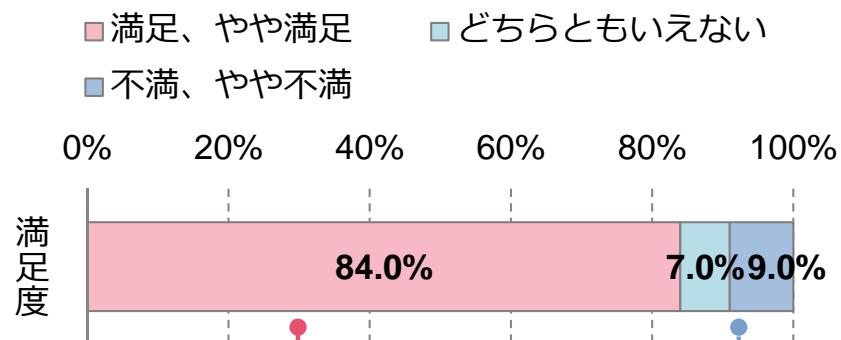
- よりコストパフォーマンスに優れたサービスとなるよう、現在開発中

## 「さくらのVPS」Windows系OSプランの開発

- 社内システム等のITインフラ需要を取り込むべく、現在開発中

顧客ニーズの高い付加価値サービスを提供し、顧客当たりの売上拡大と利益向上を図る

さくらの専用サーバ 顧客満足度調査  
(2013年 当社調べ)



価格・機能面で高評価

高レベルの運用・保守・監視  
メニューの充実、手厚いサポートを求める声

<サービスイメージ>

さくらの専用サーバ



ハイグレードサービス

サーバ監視・運用保守代行

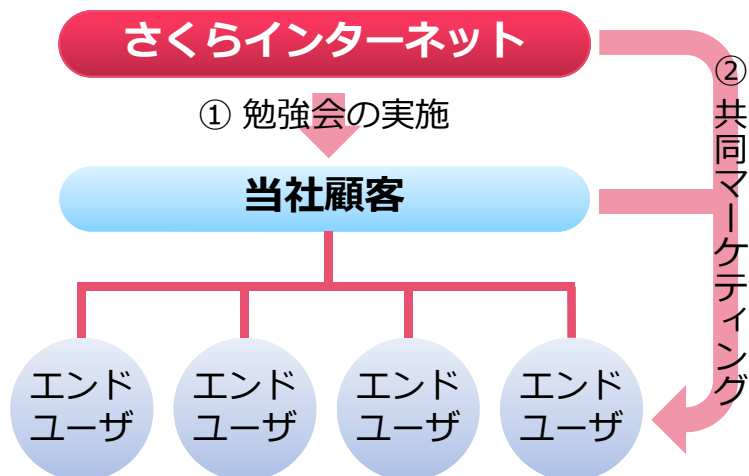
電話サポート時間拡大

顧客当たりの売上拡大 + 利益向上

顧客とのパートナーシップを強化し、エンドユーザ数の拡大を図る

#### 営業・販促支援

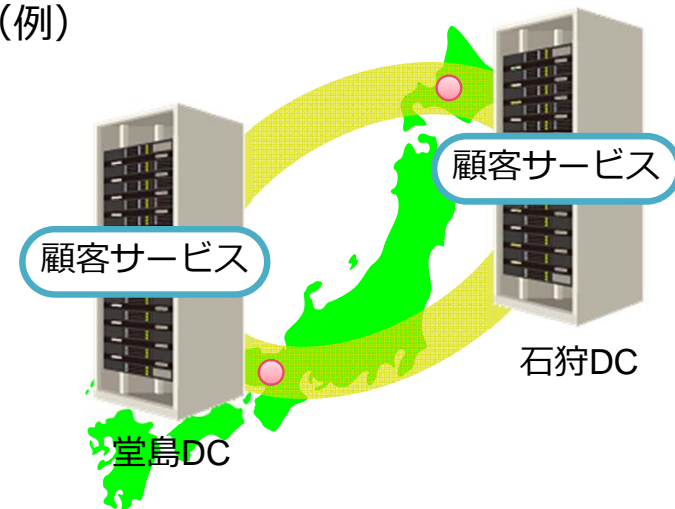
- ① 顧客スタッフ向けに、当社ITインフラの勉強会を実施
- ② 顧客主催の販促イベントに当社スタッフも参加



#### ソリューション支援

- エンドユーザが求めるITインフラ環境を当社が企画・構築

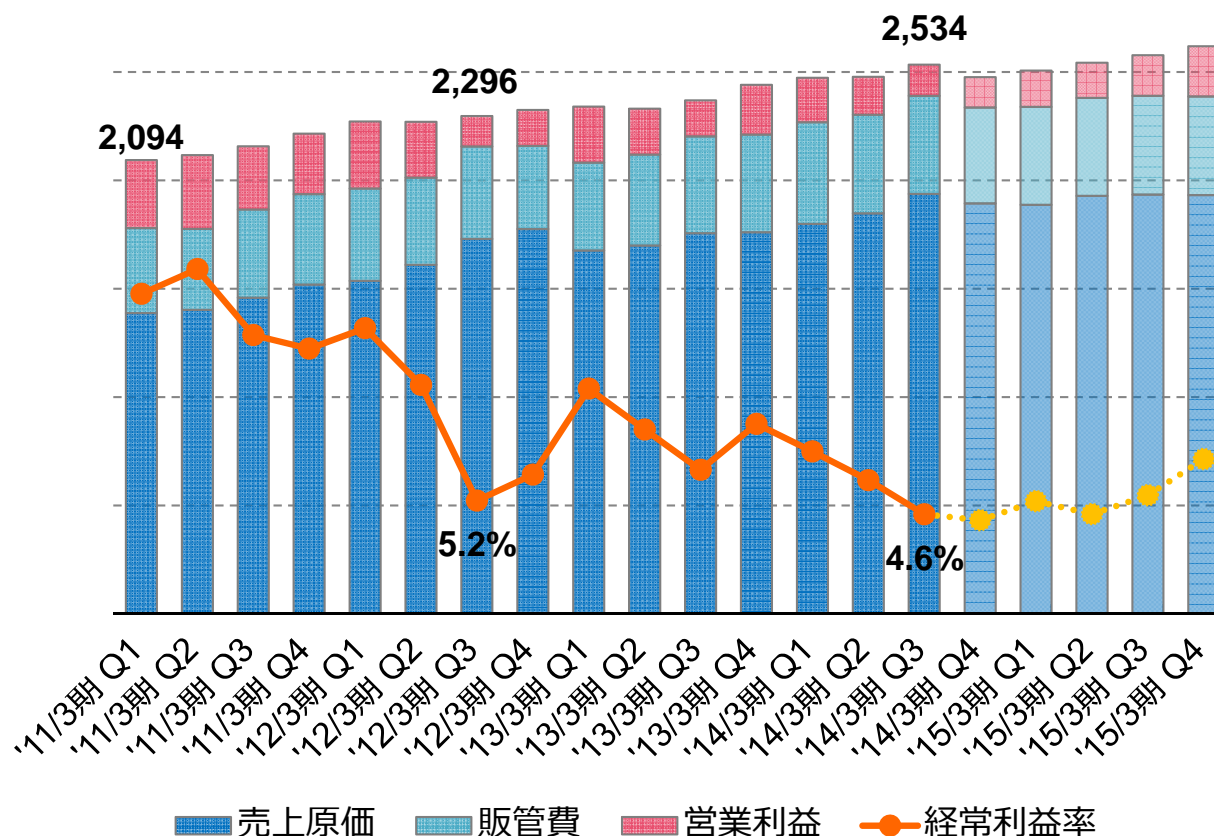
(例)



▲ 災害に備えた「遠隔地バックアップ」

中期経営計画を見直したうえで、新たな経営戦略を現在策定中

(単位：百万円)



主なトピック	時期
石狩DCの建設計画発表	'10年 6月
石狩DC 開設	'11年11月
石狩DC1号棟稼働スペース拡張 (計4回実施)	'12年 9月 '12年12月 '13年 1月 '13年 5月
代官山DCのフロア一部解約	'13年 9月
石狩DC2号棟稼働	'13年12月

(※) '14/3期Q3に機材の大口販売による一時的な売上があったため、同Q4の売上高はQ3と比べて減少する見込  
'15/3期の業績予想は現在検討中であり、正式な発表は'14/3期末の決算発表時に公表する予定



※ 当資料に掲載されている業績予想などは、資料作成時点における弊社の判断に基づいており、その情報の正確性を保証するものではありません。  
さまざまな要因により、当資料記載の業績予想とは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

#### ■ IRに関するお問い合わせ先

さくらインターネット株式会社 東京支社

Tel : 03-5332-7077  
E-mail : [ir@sakura.ad.jp](mailto:ir@sakura.ad.jp)  
担当 : 岡本